

# 山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道

## 第29回子供禅の集い

日程が下記予定表の通り決定いたしました。宜しくお願ひ申し上げます。

対象：小学校3年～6年生

## 平成22年

### 龍源寺年間行事予定

- 1/1～1/3 年頭祈禱・年賀受  
1/4～1/7 年始挨拶  
※1/10 年賀寺例  
※2/3 大節分会  
※2/15 釈尊涅槃会  
※3/14 大般若・大施食会法要  
※3月中旬 筆供養法要  
3/18～3/24 春季彼岸会  
3/23 旧蚕影山例祭日  
※4/8 釈尊降誕会(花祭り)  
4/29  
大施食会兼蚕影山例祭法要  
7/13～7/16  
京浜地区檀信徒棚経  
※7/20～7/21  
第29回子供禅の集い  
8月上旬 夏季おてんま  
※8/10 中元寺例  
8/13～8/16 盂蘭盆会  
9/20～9/26 秋季彼岸会  
※11/3 檀信徒参拝研修旅行  
12月上旬 冬季おてんま  
※12/8 釈尊成道会  
※12/10 歳暮寺例  
※12/31 除夜会  
※毎週土・日曜日 書道教室  
※毎週水曜日 定例坐禅会  
※隔週水曜日  
梅花講・琴教室・華道教室  
※は、御本寺仁叟寺にて開催  
※宗務所執務日は月水金

## 除夜会・大節分会報告

仁叟寺恒例の除夜会ですが、昨年は新型インフルエンザの流行や本堂入口改修工事等を鑑みて、規模を縮小して修行をいたしました。事前に役員会でも検討し、新聞の折り込み広告でもその旨を伝えました。それでも、約500名近い参拝者の方が除夜会に見えられました。地域の伝統行事として根付いていることを改めて感じました。

除夜会規模縮小の為大節分会は盛会裡に、という声もあり、こちらは賑やかに開催されました。直前迄の雪も当日は快晴で全て融解。今年は、仁叟寺住職とご縁のある三遊亭圓楽（元楽太郎）師匠の長男の三遊亭一太郎さんを司会役に、友好寺院のスリランカ大菩提会からシイラ師、地元参議院議員で前外務大臣の中曽根弘文議員、特賞提供者の伊香保温泉ホテル天坊齋藤淑子社長等ご来賓をお迎えしての大節分会となりました。また、当大節分会の様子を中国北京のTV局である中国旅游衛視台により取材が入りました。節分会の行事は中国から渡来しましたが、当地では行われなくなって長い時間が経過しております。日本に伝わる伝統行事の節分会を興味深く取材しておりました。

ほか、当行事は地元の新聞やTVにも取り上げられました。多数の善男善女の皆様方の参加を賜り、本年も盛会裡に修行することが出来ました。総代さん役員さん始めお手伝い下さいました皆様方には厚く御礼申し上げます。



↑ 大節分会直前に降雪

↓ 天地人に恵まれた仁叟寺大節分会



## 参禅道場に認可されました

平成22年4月1日付で、曹洞宗宗務庁より龍源寺が参禅道場として認可されました。併せまして住職が龍源寺参禅道場主管に拝命されました。

当寺は先代の渡辺啓司大和尚代より子供坐禅会を開催しております。会場は現在は仁叟寺に移りましたが、以前はここ龍源寺で開催されており、今年で第29回を迎える同行事の発祥の地でございます。また、ほかにも随時に団体等の坐禅会を修行しており、かつまた仁叟寺坐禅堂に於いて定例の参禅会を毎週水曜日夜7時から務めております。禅に興味関心がございます方は、是非當寺迄お問い合わせ下さい。ご一緒に坐りましょう。



龍源寺参禅道場認可の許状と主管辞令、本堂に掲げられた木製単牌 ↑

## 龍源寺梅花講開講

平成21年12月15日付で、曹洞宗宗務庁より龍源寺梅花講が認可され開講されました。併せまして住職が龍源寺梅花講長に拝命されました。

現在、住職が群馬県宗務所梅花主事を拝命しており、市内下横町にございます宗務所に週3日勤務しております。また、大本山總持寺安居修行



龍源寺梅花講設立許状と梅花講長辞令 ↑ 時代には梅花流の講義も開かれ、最初の段階の資格であります助教を獲得いたしました。

現在は、4月29日の毎年恒例の法会にて梅花流詠讚歌の奉詠が勤められており、また御法事に於かれましてもご奉詠を行う檀信徒の方もおられます。現在は、拙僧の母が仁叟寺にて月2回程度の梅花流詠讚歌稽古を行っております。

梅花流詠讚歌に興味関心がございます方は、是非當寺迄お問い合わせ下さい。ご一緒にお唱えをいたしましょう。

## 龍源寺探索-26- 「院号額」

院号額と言うと耳慣れない方も多いかもしれませんが、院号額とは院号を記した扁額の事です。扁額とは、本堂の上、山門の上、拝殿入口の上等々に掛かっている額の事を指します。主に木造で、多くは、建物の名前が記されております。いわば、その建物自身の表札の様なものであります。

さて、龍源寺には寺号額始め幾つかの扁額がありますが、今回は院号である「松田院」と記された院号額を紹介いたします。當山龍源寺の正式名称は、慈雲山松田院龍源寺。慈雲山が山号、松田院が院号、龍源寺が寺号です。その院号を刻した櫨製の扁額である院号額が、平成22年4月29日に山門頭に掲げられました。揮毫は龍源寺二十八世であり仁叟寺東堂の渡辺隆司大和尚筆によるもの。「松田院 仁叟東堂隆司八十八叟®」とあります。

櫨製で金箔が押されており、朱色にて印鑑も刻されております。扁額には様々な種類や書体があります。當山には他にも寺号である龍源寺と刻された寺号額が本堂入口に掲げられておりま

→ 山門頭に掲げられた院号額



## 仁叟寺通信-29- 「本尊様他仏像改修事業」



↑ 欣光閣に展示されている御本尊様  
釈迦三尊台座と光背（江戸時代中期

町時代の様式に改めて作製しております。今迄の台座は、檀信徒会館「欣光閣」に展示しております。来寺された折には、是非ご覧になって下さい。

また、同修復事業に於きましては、檀信徒はじめ志のある方々よりご理解ご協力を頂戴しましたこと厚く御礼申し上げます。檀信徒皆様方がこぞって御本尊様修復に一致協力していただき、無事修復されて帰山されます事を心より祈念しております。

こくたんいはい はんぷ

### 黒檀位牌を頒布しております

黒檀製の高級位牌を業者からの依頼で直接に廉価で購入いたしました。限定100柱となります。市販の位牌よりも格安にで仕上げる事が可能となりました。お位牌を新調希望の檀信徒の方は、当寺までお申し付け下さい。

#### 黒檀製位牌 春日型（限定100柱）

寸法 札丈5.0寸（15cm）、総丈7.8寸（23.5cm）

頒布価格 10,000円（彫代込）

※彫代込の頒布価格です。夫婦位牌の場合は、追加彫代（¥4,200）が発生いたします。

※格安での頒布ですので、他の型やサイズはございません。

仁叟寺報及び配布文書等でもご紹介したとおり本尊様等仏像修復事業が昨年より本格的にスタートいたしました。

昨年11月25日に仁叟寺御本尊様釈迦三尊像は、佛教造形研究所の鳴沢工房での修復へと旅立たれました。約2年半の予定で修復を行う予定です。また、それに併せまして修復しておりました薬師如来像が帰山いたしました。薬師様は仁叟寺で一番古くかつ大きな仏像であり、作は平安末から鎌倉に掛けてと言われております。当寺が奥平から神保に移転する迄の間、本尊様であったと伝えられております。今回の御本山様修復に際しまして、修復終了までの間、仁叟寺の御本尊様の御代理をお勤めになります。尚、御本尊様釈迦三尊像と共に、高崎市重要文化財にも指定されております。

この度の修復に当たり、江戸時代に作製されました御本尊様釈迦三尊の御台座及び御光背を、従来の中世室



↑ 御本尊様創建当時の蓮型台座  
（中世室町時代作）

→ 黒檀製位牌（春日型）  
・総丈二十三・五cm  
・札丈十五cm



## 平成21年度寄附者一覧（敬称略）

寄進品目名	爲	地域	施主名
櫨製三宝一対	城代家墓石塔開眼会供養	長根	城代裕一
本堂須彌壇改修工事施工	加部家先祖代々諸精霊供養	吉井	加部元信
櫨製導師用經机	梅岳清輝居士霊位菩提供養	東京	中澤秀樹
櫨製大磬子台	墓石塔開眼会供養	東京	斎藤光則
		矢田	永塚 徹



→ 櫨製三宝一対



→ 櫨製大磬子台



↑ 櫨製導師用經机

有難うございました

## 平成22年度龍源寺総代人世話人一覧（敬称略）

総代長	矢田	小林 茂	役員	多胡	篠崎 昭
総代人	多胡	田中忠男	全	多胡	新井岩雄
全	松田	出牛裕一	全	矢田	金井邦夫
役員	松田	白田 博	全	矢田	※八木和宏
全	松田	渡辺ひで子	全	多比良	※田端米治

上記の表が、平成22年度龍源寺総代世話人の方々です。宜しくお願い申し上げます。また、※印のお二人が新任となります。前任者でございます金井一二三さん（矢田）、田端良作さん（多比良）、お疲れ様でした。合掌。

## 行雲流水（編集後記）

編集人 住職 渡辺龍道

4月29日の當山大施食會、蚕影山例祭、檀信徒總會の場にて発刊される予定の龍源寺報『山雲水月』第29号です。お蔭様で、御本尊様他5体の諸仏像も修復されました。また、ご寄進者のご芳名を刻した石碑を蚕影山顕彰碑として作製。繭形の顕彰碑は恐らく全国初になるかと思われます。今年の同会では、その開眼会と除幕式法要を仁叟寺御住職様及び宗務所長老師を御導師に拜請し、それぞれお務めいただける事となりました。同事業の詳細は、次号でご報告申し上げます。檀信徒始め関係者各位には本当にお世話になりました。只管感謝感謝でございます。